

(8)昭和天皇

最後に、2.26事件にかかわる丸山の天皇評を見てみよう。丸山は1946(昭和21)年に「超国家主義の論理と心理」を執筆した際、それまでとらわれていた昭和天皇個人と近代天皇制の「呪力からの解放」を経験していた(「昭和天皇をめぐるきれぎれの回想」1989年〈『丸山眞男集』第15巻〉、2021年度展示「知識人の自己形成」第4部第1章(1)参照)。ある懇談会で、昭和天皇が死去したのちになって公表された『昭和天皇独白録』の感想を問われた丸山は、次のように述べている。

率直に言って、鉄面皮も甚だしいな。責任回避がひどいですね、僕の知る限りでも。事実関係のおかしいのと、憲法の解釈が天皇ともあろうものが基本的に間違っているんです。いや天皇が間違はずがないので、ごまかしている。(中略) 明治憲法の誰でも知っている解釈は、憲法一一條に「天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス」とある。それから「天皇ハ戦ヲ宣シ和ヲ議シ」、これは一三條。一二條は「天皇ハ陸海軍ノ編制及常備兵額ヲ定ム」。後世統帥権と称せられたには、そのことを言うわけです。統帥というのは明治憲法の国務の外にあるわけです。(中略)〔統帥権の行使については憲法に〕誰の「輔弼」ということは何も書いてないわけです。(中略)これが天皇が軍を親裁するという意味なんです。(「現代の中国と日本・『シュペーゲル』事件・『昭和天皇独白録』」1991年〈丸山眞男話文集 続』第2巻〉)

『昭和天皇独白録』によれば、1946年に昭和天皇は、太平洋戦争の開戦を止めようとしたが、憲法に規定された立憲君主の枠組みをこえる行動はとれなかったため、それはかなわなかったという趣旨のことを述べたという。たしかに明治憲法では、国の政務に関する天皇

の権限については各大臣の「輔弼」(助言)に従って行使され、そのことに対して責任を負うのは各大臣であって天皇ではないという仕組みになっていた。しかし、「統帥権」と呼ばれる軍の最高指揮権の行使については、「輔弼」に関する規定は憲法に存在せず、天皇がみずから裁決を下す建前になっている。したがって、天皇以外に「統帥権」の行使に関する責任を負う主体は存在しないはずである。

このことは、丸山が兵士だったときに嫌というほど暗唱させられた「軍人勅諭」にもあらわれている。「軍人勅諭」では、「兵馬の大権」を武家に預けていた時代が「失体」とされ、天皇が軍事的権限を直接掌握することが宣言されていた。天皇が内閣・大臣を介さずに軍をコントロールするという仕組みになっていたからこそ、歴代の内閣・大臣は軍を掌握できずに苦悩していたのではないのか。丸山は、1945(昭和20)年10月に近衛文麿(このえふみまる:画像<国立国会図書館「近代日本人の肖像」>)と面会した際のことに触れながら、次のように語っている。



近衛が一番ぶつぶつ不平を言ったのは、統帥権というのは非常に困る。支那事変が始まった時がちょうど近衛内閣でしょ。本当に困ったと。始まっちゃってどうなるのか全然分からない。(中略) 参謀総長・軍令部総長は、言わないのが当たり前なんです、統帥権からいって。しかし天皇には奏上しているわけです。それで近衛はいちいち天皇に聞きに行くの。(同前)

天皇の「親裁」を楯に軍が内閣・大臣による介入を拒絶するなら、天皇が軍を押しとどめ

るしかなかった。昭和天皇は当然そうすべきだった。にもかかわらず、昭和天皇はそれを怠った。それどころか戦後になってエクスキューズに終始している。丸山はそんな天皇の態度に憤りを隠さなかった。

しかし、天皇が明治憲法下で何もしなかったわけではない、丸山は2.26事件における天皇のイニシアチブを次のように評価している。

憲法上の建て前としては、参謀総長や軍令部総長にも何ら権限がない。天皇が自ら決めるんです。だから比較的それに近いのが、二・二六事件でしょうね。あれは本当に天皇が決めたから。あとはみんな日和っちゃったから。あの時の昭和天皇はものすごく立派です。(同前)

以上のような意見を述べた懇談会に先立つこと19年前、丸山は「歴史意識の「古層」」という論文をものしている(『丸山眞男集』第10巻)。この論文では、日本思想の根底には、世界を「いま」起こっていることが次々に重なりあって進行するものと捉える態度があると論じられている。個人がとりうる態度は、そのなかでいま起こる出来事をありのままに受け入れるか、オポチュニスティックに成り行きに乗じるかの二択しかない。なんらかの原理や普遍的法則にもとづいて世界の大勢を否定することはできないし、まして抗うことなど想像だにされない。だが、2.26事件という大勢のなかにあって、昭和天皇は勢いに抗い、反乱将校に毅然とした態度で臨んだ。丸山の好評の背後には、日本思想の結集点とも言うべき天皇の行動に、自身の政治思想史像を突き破る「決断する主体」を見出した喜びがあるのかもしれない。